

授業計画【第7回】	第7回 自然への導入～自然体験プログラムの実際（手法：ネイチャーゲーム） ●感性の体操（視覚、聴覚など、人が持つ感覚を意識する体験） ●マイツリー（視覚を閉ざし、他の感覚を研ぎ澄ます体験。またペアの信頼関係も築く） ●目隠しトレイル（視覚を閉ざし、他の感覚を研ぎ澄ます体験。） ●カモフラージュ（自然を意識して見ることへの気づきを体感する。） ●ふりかえりと共有
授業計画【第8回】	第8回 人と自然環境保全の関係性（手法：プロジェクト・ワイルド） ●社会問題、環境問題を題材にした課題解決プログラム ●グループワークによる作業 ●グループ発表、それぞれの共有 ●課題に対してのふりかえり、説明（講師）
授業計画【第9回】	第9回 野外での自然体験活動 基本技術（着火、刃物の取扱い、安全管理） 野外調理に必要な環境づくり ●調理場設営（テーブル、水まわり、ごみ処理など） ●火気の取り扱い（かまどづくり、火お越し、火の始末など） ●刃物の取り扱い（刃物の使用法、薪割りのポイント、薪の管理など）
授業計画【第10回】	第10回 野外での自然体験活動 企画立案 ●アクティビティの企画立案（グループ毎、60分間程度の企画） ・グループ毎にネイチャーゲームをプログラム立案する。 ・ゲーム内容だけではなく、役割分担、安全管理などといった主催側として、全体のコーディネーションを意識する。
授業計画【第11回】	第11回 野外での自然体験活動 指導運営の実践 ●アクティビティの実践実習（各班60分間の企画） グループ毎に企画したプログラムを指導側として実践する。 ★進行手順 ①挨拶、自己紹介、注意事項、安全トーク ②つかみ ③体験／ネイチャーゲーム実践 ④ふりかえり 実施者＝伝えたかったこと、工夫したことが実践、表現できたか。 参加者＝体験を通しての感想と共有。
授業計画【第12回】	第12回 野外での自然体験活動 野営の基礎（テント設営、備品管理の必要性） ●テント設営（地面、角度、整地、周辺物、動線の安全などを考えた基本） ●宿泊体験（実際に宿泊し、より快適な空間づくりを目指す。） ●撤収や保管管理の方法を学ぶ。
授業計画【第13回】	第13回 創造制作プログラム（ネイチャークラフト） ●自然物を使った創作活動を行う。 ●自然物それぞれにある特徴を知る、活かす。 ●体験活動の思い出となり、季節、場所などへの思いをつなぐ。 ●作品への思いの共有
授業計画【第14回】	第14回 野外での自然体験活動～フィールド実践（リバートレッキング体験） ●実体験を通して、自然と関わるすばらしさを知る。 ●指導者としての意識 ・レクチャー、セフティートークなどの必要性 ・実施中の安全管理手法 ●ふりかえりと共有
授業計画【第15回】	第15回 ふりかえりとまとめの重要性（気づきの共有） ●講義のすべてを記録写真をととして全体をふりかえる。 ●本講義の必要性における個人の感想や意見を共有する。 ●講師のまとめ
授業の到達目標	・自然体験プログラムを通して、人と人、人と自然との関わりの大切さを理解する。また、社会的責任について理解する。 ・体験型プログラムを通し、自然体験活動が情操教育においての必要性を実感する。 ・指導者へ意識：自然体験の基礎知識、指導法、安全管理知識）などを習得する。 ・野外活動の技術を実践とおして習得する。 ・上記項目を通して、コミュニケーション力、協調性、また主体的に考える力を身につけ、人間力を持った社会人としての人間形成を目標とする。
学位授与の方針（DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	【予習】 ・野外演習の物品や服装の準備は、安全管理面などからも重要であり、その必要性を理解、確認し備える。（30分） ・グループでの課題取り組みにおいて、効率よく進行できるように、グループ内で役割分担をし各自翌日に備える。（30分）
授業時間外学習【復習】	【復習】 ・日々の講義内容をふりかえり、疑問点などあれば翌日に質疑応答を設け、理解を深める。（30分）
課題に対するフィードバック	配布資料は、ファイリングをして講義内容を項目、時系列でふりかえられるように綴る。 レポート（ふりかえりと感想）はコピーをとり、評価の一部とする。 原本は、本人に返却し、自分の評価・変化を確認できるようにする。 体験実習においては、都度、自他による感想・意見・ふりかえりなどで評価、共有する。
評価方法・基準	・実践による技術習得（70点） ・自己評価（感想文）（30点）
テキスト	※以下のテキスト等から必要に応じた内容を配布するので購入の必要はない。 ・「自然体験活動指導者 安全管理ハンドブック」出版社：NPO法人自然体験活動推進協議会 価 格：一般価格：1,100円 発行日：2020年8月改訂 ・「プロジェクト・ワイルド=水辺編=」（非売品）著：一般財団法人 公園緑地管理財団
参考書	参考資料による引用と自主作成による配布資料。
備考	